

平成 21 年度春 応用情報技術者試験 分析速報

2009,4,19 (株) アイテック 情報技術教育研究グループ

1. 新試験全体講評

試験制度改訂後の初回の実施となった平成 21 年春期の応用情報技術者試験の全体概要について述べます。

今回の制度改訂では、従来のテクノロジ系分野中心だったソフトウェア開発技術者試験（以下、SW 試験）の出題内容に、マネジメント系、ストラテジ系分野の知識が加わりました。午前試験では各分野の出題比率、出題内容と難易度が注目され、午後試験では追加された分野からの選択問題の内容と難易度が注目されました。

午前の問題では、テクノロジ系分野の問題は従来の SW 試験とほぼ同じぐらいの難易度でしたが所々難しい問題が出題されています。マネジメント系のシステム監査は予想したよりも平易な問題で、ストラテジ系の問題も一部の問題を除いて全体的に平易な問題でした。基本情報技術者試験を最近受けてから今回の応用情報技術者試験を受けた人にとっては比較的解きやすかったと思いますが、SW 試験を続けて受験してきた人は追加された分野の問題が難しかったと思います。

午後の問題は、SW 試験から新たに加わったストラテジ、マネジメント分野の問題内容が注目されました。問 1 と問 2 の問題選択グループでは、他の問題に比べて少しボリュームがありました。戦略系、技術系で解く問題がはっきり分かれたと思います。

問 3～問 12 の選択問題は予め発表されていた分野から出題されましたが、個々の問題テーマの内容に関してある程度の知識を理解していないと解答が難しい設問がいくつかありました。印象としては幅広い分野から出題されていること、新試験 1 回目の実施で初めて見る問題ということもあり難しいと感じた人もいると思いますが、午後問題の全体の難易度としては、従来の SW 試験レベルで普通だったといえるでしょう。

2. 午前試験の講評

応用情報技術者試験の初回の出題内容に関して、従来の出題範囲に追加された分野のマネジメント系、ストラテジ系含めた新傾向問題と言える問題には、次のようなものがあります。

- 問 15 仮想化によって 1 台のサーバに統合したときの特徴
- 問 21 オープンソースソフトウェア
- 問 22 SoC の説明
- 問 23 ウォッチドッグタイマの機能
- 問 32 概念データモデルの解釈 (UML 記法)
- 問 35 広帯域無線アクセス技術
- 問 43 ユースケース

- 問 49 マッシュアップを利用した Web コンテンツ
 問 61 企画プロセスにおけるシステム化構想の立案の前提（共通フレーム 2007）
 問 65 要求定義プロセスで行うべき作業（共通フレーム 2007）
 問 66 提案依頼書作成のため必要情報の提供を要請するもの
 問 74 組込みシステムの用途
 問 75 企業活動における BCP

また、午前問題の出題比率は次のような結果でした。

分野	大分類	21 年春	分野別
テクノロジー系	基礎理論	9	49
	コンピュータシステム	15	
	技術要素	18	
	開発技術	7	
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	5	11
	サービスマネジメント	6	
ストラテジ系	システム戦略	4	20
	経営戦略	10	
	企業と法務	6	

今回、新規で加わった問題の内容については、予想していたよりも平易な問題でした。例えば、プロジェクトマネジメントの問題として出題された、問 50 の WBS、問 51 のプロジェクト所要日数の計算、問 52 のプロジェクトの追加要員数、サービスマネジメントの問題として出題された、問 56 のシステムの移行計画、問 57 のリポジトリを構築する理由などは、従来システム開発の分野で出題されていた内容でしたし。システム監査の問題も平易な問題が 2 問しか出題されませんでした。

マネジメント系問題では、迷うと思われる問題もありましたが、問題を読んで単純に計算すればよい問題もあり、予想された難しさはあまり感じられませんでした。なお、システム戦略、システム企画の問題で、共通フレーム 2007 における記述内容が 2 問出題されました。今後は、共通フレーム 2007 の開発プロセスについても出題が増えてくると予想されますので、概要を理解しておく必要があるでしょう。

3. 午後講評

応用情報技術者の午後試験は、12 問中 6 問選択し 2 時間半で解答するというので、ソフトウェア開発技術者試験に比べて、全体的に 1 問あたりの問題の中身が濃くなったといえます。

テクノロジー系の問題に関しては、従来のソフトウェア開発技術者試験と同等でした。選

択問題が増えましたが、全体の難易度としては中程度で、選択問題によって得点率に差が出ないように配慮されていると思われます。

各試験問題ごとに出題内容を見ていくと次のようになります。

(問 1, 問 2 から 1 問選択)

問 1 マーケティング戦略の立案 (経営戦略)

マーケティング戦略に関する問題でした。マーケティング, 経済学に関する知識が必要で, 難易度としてはやや高い問題です。特に, 記述で答える設問 4 は, 難易度として高い設問でした。今後も, 問 1 を選択する場合には, 事前学習がかなり必要になってくると思われま

問 2 ハッシュ法 (探索アルゴリズムであるハッシュ法の一つ) (プログラミング)

ハッシュ法 (チェイン法) に関する問題でした。定番のアルゴリズムで特に難しい設問もなかったため難易度としてはやや易しい問題といえます。しかし, アルゴリズム問題としては, 計算用に関する記述など文章を書かせる部分が多かったため, 少々とまどったかもしれません。

(問 3~12 から 5 問選択)

問 3 SWOT 分析 (戦略立案・コンサルティングの技法)

SWOT 分析に関する問題でした。会社の事例をもとに, 経営戦略を考案していく問題で, 難易度としては中程度です。SWOT 分析についての基本的なことを知っていて, 問題文をきちんと読むと, 解答を導くことができます。

問 4 災害復旧対策 (ディザスタリカバリ) (システムアーキテクチャ)

災害復旧対策に関する問題でした。ある程度事前知識が必要で, 問題文をきちんと読みこなす必要があり, 難易度としてはやや高い問題です。システムアーキテクチャ問題としては, 計算問題が少なく記述もないのですが, きちんと考えないと解けない設問が多いです。

問 5 DHCP の利用 (ネットワーク)

DHCP の利用に関する問題でした。DHCP でのパケットのやりとりの方法や, IP アドレス割当方法について理解している必要があります。やや難易度の高い問題でした。特に, 設問 2, 設問 3 は IP アドレスに関する定番問題なので, 今後受験する方はきちんと理解しておく必要があります。

問 6 注文管理システムの設計と実装 (データベース)

注文管理システムの設計と SQL 実装に関する問題でした。難易度は中程度ですが、エンティティによって列名が微妙に異なるため、細かい注意が必要な問題です。

E-R 図の作成と SQL 文作成の問題のみで、従来のソフトウェア開発技術者試験の午後 I 問 6 (データベース分野) と比べると、分量がかなり少なくなりました。

問 7 携帯端末の省電力 (組込みシステム開発)

携帯端末の省電力に関する問題でした。クロックやタスクの割込みなどについて、基本的な知識があれば解ける問題で、難易度は中程度でした。設問 2 の計算問題は平易でしたが、設問 3 の記述はきちんと考える必要があります。事前学習が必要な分野です。

問 8 通信販売用 Web サイトの設計 (情報システム開発)

Web サイトの設計に関する問題ですが、UML でのオブジェクト指向設計がテーマで、難易度としては、やや難しい問題でした。設問 1 では、ポリモルフィズムについての理解が求められています。設問 3 の記述は深く考える必要があり、難易度は高いです。

問 9 ファイアウォールの設定 (情報セキュリティ)

ファイアウォールの設定方法についての知識が必要な問題で、難易度としては普通の問題でした。設問 3 の認証サーバについての設問は、やや高度な内容でしたが、それ以外は、基本的な知識があれば解ける設問です。

問 10 営業支援システム開発プロジェクトの管理 (プロジェクトマネジメント)

営業支援システム開発に関するプロジェクト管理の問題ですが、基本的な考え方を理解していれば解ける中程度の難易度の問題でした。全体的に難しい設問はありませんでしたが、設問 3 の記述がきちんと書けることが、この問題でのポイントになると思われます。

問 11 SLA (Service Level Agreement) (IT サービスマネジメント)

SLA に関して、サービスレベルの評価とそれを踏まえた処置を考える問題で、難易度は中程度でした。SLA に関する基本的な考え方を理解しておく必要があります。問題文に出てくる会社の状況を本質的な部分で踏まえる必要があるため、思考力が必要な問題です。

問 12 DB 監査ツールを利用したシステム監査 (システム監査)

DB 監査ツールを利用したシステム監査に関する問題でした。監査手続についての基礎知識と、ネットワークセキュリティについての知識が必要な問題で、難易度は中程度でした。事前に監査に関する知識をしっかりと学習しておく、比較的楽に解ける問題です。

以上